

製品名: VPAC2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19822**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	VIPR2 VIPR2; VIP2R; Vasoactive intestinal polypeptide receptor 2; VIP-R-2; Helodermin-preferring
別名	VIP receptor; Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide type III receptor; PACAP type III receptor; PACAP-R-3; PACAP-R3; VPAC2
遺伝子 ID	7434.0
SwissProt ID	P41587
免疫原	抗血清はヒト VIPR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 83-132

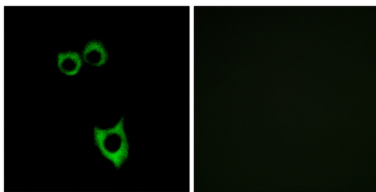
背景

血管作動性腸管ペプチド受容体2 (VIPR2) ホモサピエンス この遺伝子は、小さな神経ペプチドである血管作動性腸管ペプチドの受容体をコードしています。血管作動性腸管ペプチドは、平滑筋の弛緩、外分泌および内分泌の分泌、ならびに肺および腸管上皮における水およびイオンの流入に関与しています。その作用は、アデニル酸シクラーゼを活性化するグアニンヌクレオチド結合タンパク質と関連する膜貫通型受容体を介して行われます。[RefSeq 提供、2011年8月]機能: これは PACAP-38 および-27 と同様に VIP の受容体であり、この受容体の活性はアデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質によって媒介されます。ホスホリパーゼ C と共役することができます。類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。組織特異性: CD4+ T 細胞で発現しますが、CD8+ T 細胞では発現しません。T 細胞株 Jurkat、PEER、MOLT-4、HSB、YT、Tsup-1 では発現しているが、T 細胞株 HARRIS および HUT 78 では発現していない。

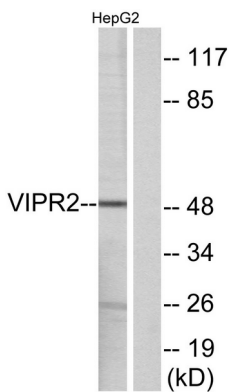
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



VIPR2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



VIPR2 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。